


活動名		目玉っちキーホルダー			
概要	○木の枝にクラフト用の動く目玉をつけて、キーホルダーをつくる。				
ねらい	○自由な発想で、思い思いに作品づくりを行うことによって想像力を養う。 ○道具の特徴や使い方を理解し、正しく安全に取り扱う。 ○木肌をよく観察することで、樹木に対する興味関心を抱ききっかけをつくる。				
関連教科等	生活・図画工作・理科・総合				
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う				
時期	通年	時間帯	日中	対象	幼(大)～
場所	創作棟	人数	～120人/1部屋	所要時間	0.5～1時間
準備物	施設で準備できるもの		団体・個人で準備するもの		
	小枝、クラフト用の動く目玉、ヒートンひも、木工用ボンド、押しピン ポスカ、ひご		なし		
進め方・展開例					
	内容			留意点	
活動前	○打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方			○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。	
活動の説明	○例となる作品を提示し、自分の自由な発想でキーホルダーをつくること ○木肌を観察して、顔の表情のように見える部分をさがすこと ○作成手順について			○例となる作品と同じものを作るのではなく、自分の自由な発想で作るように伝える。 ○どんな表情に見えるかを友達同士で確認させるとよい。 ○創作説明用のシートを使用する。	
展開	○小枝の木肌を観察して、どの部分に目玉をつけるか決める。 ○木工用ボンドで、小枝にクラフト用の動く目玉を付ける。 ○枝にヒートンを付ける。 ○ヒートンにひもを付ける。			○細かい作業なので、ピンセットを使うとよい。 ○ヒートンにひごを通して、回していくとよい。	
まとめ	○片づけをする。 ○お互いの作品について発表し合い、よさを認め合う。				
評価	○想像力をはたらかせて、思い思いの作品をつくることができたか。 ○道具の特徴を理解し、正しい使い方を習得することができたか。 ○木肌の表情を観察して、積極的に小枝を選ぶことができたか。				
発展	○色合いを考えて、マジック等を使って色を付けることもできる。				